

2学期を振り返る（平成25年度）

＜総務部＞

※今年度の目標

- ・式典の円滑な運営を目指す。
- ・PTA活動が円滑に運営されるよう、積極的に支援する。
- ・学校案内、学校要覧の資料を創意工夫して作成する。

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

ア 行事計画

遅れることなく出すことができた。

イ 芸術鑑賞会

内容が充実していたこともあって、計画通り、期待通りの結果が得られた。昨年度の改善点も生かせたと思う。

ウ PTA理事会

臨時PTA理事会・臨時PTA総会ともに、円滑に運営できた。

エ 式典

始業式・終業式・全校集会等、整然と行うことができた。

オ 委員会活動

(ア) 文化委員会

多くのサポーター、PTA保護者に参加していただき、ゲームや瓦煎餅販売を円滑に行うことができた。保護者と直接関わることができ、生徒の情報交換を行うことができた。

文化祭の準備に向け、話し合いがもたれた。瓦煎餅が好評のようだった。クラス運営で、PTA会場にはあまり行けなかったが、順調に実施していたようだった。

(イ) 生活指導委員会

委員長が各委員に出欠確認をメールでおこなっていただいたことで、スムーズに交通指導案を作成することができた。生徒指導部の企画で、各部長に総務部企画に参加を要望できなくなった。結果、総務部の担任は1日、副担任は2日、役割の分担をした。

理事・サポーターの方が熱心に生徒の安全のために、交通指導をしてくれた事に感謝したい。

交通指導（人数・配置場所）の見直しが必要

(ウ) 広報委員会

チーフが信念をもって仕事をしてくれた。写真の扱いについて、社会の流れの中で神経質にならざるを得ない状況になってきている。写真中心の誌面づくりは今後検討の余地がある。

昨年度に比べ、役員の方たちが自主的に動けていただいている。業者との仲介をするのが、なかなか難しいが、2学期号が無事に発行できたので安心した。

(2) 課題、3学期に向けて

ア 式典

式典の円滑な運営を目指す。（始業式・終業式・全校集会・卒業式）また、そのマニュアルを確立する。

イ 生活指導委員会

1月の下校指導は、寒さ対策が必要。理事・サポーターの方々にカイロ等を用意したほうがよい。

ウ 広報委員会

3学期は以前の型がきちんと作られているので、他の学期よりも円滑に作業を進めていきたい。

エ 入学許可候補者説明会

昨年度実施した反省を踏まえて計画していきたい。

＜教務部＞

※今年度の目標

- ・基礎学力の定着・向上とわかる授業の実現（授業時間確保・学び直しの充実）
- ・個に即した学習・教科指導の実現（適正な評価・不振者及び上位者への個別指導）
- ・基本的生活習慣の確立と不用意な遅刻の防止

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

- ・テスト（考査）における、教務としての役割（テスト監督作成、テスト返却表作成）、考査担当の役割を覚えることができた。また学校説明会の学校紹介が良い形でできたと思う。
- ・遅刻、欠席が多くなってしまった。
- ・資格取得のための授業時間は確実に確保できた。
- ・朝学習（クイック 10 小テスト）を週一回のペースで続けており、2 学期後半頃から合格できていない生徒が合格点をとれるようになってきた。
- ・自分のクラスの生徒に対しては、放課後教科を問わずに個別指導を行った。
- ・遅刻指導に関して、掃除や漢字の書き取り以外に道徳的視点からの遅刻指導教材を作成し行った。数名の生徒を除いて、しっかりと取り組めた。
- ・2 学期も計画的に、時数の計算をして実施できた。
- ・チャイム着席、授業の準備ができていない生徒がいるので、声かけをして徹底したい。
- ・基礎学力が定着・向上したかは定期考査だけだとわかりづらい。学び直しを学校全体として達成目標などを提示して話し合う場がほしい。
- ・放課後の個別指導は、できない生徒だけでなく、できる生徒への進学指導も実施したい。学校で曜日を決めてみるのもよいかもしれない。
- ・遅刻を減らすのは本当に厳しい。学年で実施している遅刻指導も単なるペナルティーと化している。学校等して遅刻撲滅週間などを設定して、学校として指導する方法が必要かもしれない。
- ・秋の面談週間は、短縮にせず平常日課で実施した方が授業も落ち着くと思う。
- ・特時によって、学期の授業時間がクラスによって差が出るという意見があった。
- ・授業は1つ1つ時間をかけて行うことができた。開始時は休み時間との区切りをきちんとつけさせるため、声かけ等は継続して行うことができた。
- ・3 学年として、教室内の環境整備や身だしなみ等は厳しく指導してきた。
- ・基礎的な技能は身につけることができたようだ。赤点でない不振者に対する適切な補習を行うことができた。
- ・転学関係書類の処理について覚えることができた。忘れたりうっかりミスが多く、メモを取るなどの改善を図り、的確に仕事をしたい。
- ・学力とは何かとはむずかしいが、達成度だとすれば、「基礎学力の達成度」「到達度」については明確にしていくことが必要かもしれない。
- ・評価に関しては危うさを感じる。今一度内規を確認する必要がある。

(2) 課題、3 学期に向けて

- ・印刷室の整備をしっかりと行う。学検の仕事を教務としてミスがないようにやりとげる。
- ・学校説明会で生徒数が少なかった。入試がはじまるので、学年末に向けて生徒の指導も疎かにしないようにする。
- ・資格取得に向けての授業時間の確実な確保。
- ・入学者選抜への準備。
- ・生活習慣の乱れは、学習習慣の乱れにつながり、成績にも影響するので、日頃からの声かけ（心配している態度・姿勢）を行う。

- ・スムーズに授業を展開したい。
- ・単なる声かけでなく、視覚にうったえる注意もしたい。
- ・成績処理について学期末にまだまだ混乱している。もう少し整理して、入力方法の提示などを検討すべき。入力方法の精査も必要 (x?, y?, *?)
- ・入試に向けて打合せの時間を分掌ごとに確保すべき。
- ・期末考査返却と学校説明会準備が重なり調整できないことがあった。
- ・成績処理について混乱があった。図書情報部に分担してもらっているが、責任の所在が曖昧かと思う。新たな取り組みの中で生じた新しい問題を、来年にしっかり反映させることが必要。
- ・評価が適切か、原票の作成・入力がたやすいかなど教科会議でもしっかり確認してもらうべき。
- ・ひとつひとつの業務の正確さに課題があった。
- ・授業の進度が計画より遅れ気味になり、3学期に学習する内容が増えた。要点をしぼって中身のある授業にしたい。
- ・進路決定者の気の緩みが気になる。2学期の遅刻と欠席が多かったため、3学期の生活リズムの乱れが心配。学年職員全体で厳しく指導していきたい。
- ・学検でのミスがないように集中して取り組みたい。
- ・2学期は係の仕事があまりできず、チェックもできていなかったのでもししっかり確認していきたい。
- ・移動教室の時の遅刻をさせない指導をする。
- ・生徒の能力に応じた教材づくりに努める。
- ・期限ギリギリの仕事が多すぎる。余裕をもって作業することはミスを少なくするはず。
- ・互いの声かけ、ダブルチェックが未だに確立していない。個の仕事はしないようにすることが、継続となる。

<進路指導部>

※今年度の目標

- ・「見える進路」(生徒も職員も見通しをもって活動できる進路)を目指す。
- ・「あきらめない進路」(最後まで支援する進路)を目指す
- ・社会人としてふさわしい学力・態度の指導を一層充実させる
- ・キャリア教育を充実させ、社会人になる自覚を育てる

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

- 今年度から、各学年を通して総合的な学習の時間におけるキャリア教育を実施した。成果などについては今後検討が必要となるが、とりあえず短い時間内で生徒を動かすことができることが確認できた。
- 第3学年の進路決定については、ほぼ昨年並みの数字を出している。
- 進路指導部内の職務については作業の分担化と業務内容・情報の共有化を十分に図ることができていると思われる。
- 来年度の予定については、今年度の反省を活かしつつ、現在実施計画を策定中である。

(2) 課題、3学期に向けて

- キャリア教育については、各講義や講演の意義について担任に3年間の進路指導の流れの中で再確認をしてもらい、実施前に生徒にその趣旨の徹底を図ることが必要であると痛感した。そうでないとただの単発の行事となり、進路指導につながらない。
- キャリア教育においては抽象的な話については生徒が理解するのが難しい。
- クイック10についても同様で、なぜ実施すべきかということについて、生徒にしっかりとその理由を把握させることが必要である。

- 第3学年の進路決定については、昨年以上に男子において進路を決めることができない生徒が見られる。また進路決定の作業から、逃避を図る、逃げ出そうとする生徒がいるのが特徴である。
- 進路決定において、進学費用を確保できない生徒が昨年より多いように思われる。また、願書の提出などにおいてトラブルや、期限ぎりぎりにならないと動かない生徒が多い。もう少し計画的に生徒が動けるよう早い時期からの指導が大切である。
- 就職試験に於いてクレペリン検査などの適性検査ができなくて、不合格になる生徒が見られる。また生徒自身適性検査が難しく、クリアできないと思っている。来年度は集中力を高める練習なども考える必要がある。
- 第3学年でまだ進路が未決定な生徒が約24%いるので、この数字を少しでも減らせるよう、生徒に対する働きかけを学年団と一緒にやっていきたい。
- 第1、2学年については進路の立場からも欠席や遅刻をしないように働きかけることが必要である。

＜生徒指導部＞

※今年度の目標

- ・事故や非行を防止し、生徒が安全で安心して取り組める環境の確立
- ・生活習慣（身だしなみ、あいさつと礼儀、時間を守るなど）の確立
- ・職員の指導に従う体制づくり

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

「基本的な生活習慣について」

- ・整容指導を始め日頃の生徒への指導は、統合3年目を迎えて形となり継続的に行われてきた。現在抱えている課題(欠席や遅刻の多さ、女子のスカート丈、交通安全面、ネットに関するモラルなど)については、生徒の状況を把握しながら改善に向けて指導していきたい。
- ・登下校時の服装指導は各学年の先生方が協力してしっかりと行ってくれた。服装指導期間が過ぎると女子生徒のスカート丈が短く戻るなど課題もあるが、学校として取り組んでいるという態度を生徒に伝えることができたと思う。
- ・整容指導は一定の成果をあげてきていると思う。極端な髪色の生徒は見当たらない。
- ・女子のスカート丈は、1学期、2学期初めに比べ、良くなってきているように思う。(極端に短い女生徒も減少してきた?) 登下校指導や集会時の整容 check によるものだと思う。生徒の意識の中に「短いスカートは違反である」「許されない」との認識が素直な状態で定着してきた。
- ・身だしなみがだんだん良くなってきていると思う。あいさつも部活生徒を中心に反応が良くなっている。

「安全指導」

- ・9月当初の自動車同乗の女子生徒の交通事故は、本校の生徒の安全面に対する未熟な部分をはっきり出たものと思う。幸い命に別条はなかったが、この事故を教訓にして生徒全体が安全面に注意をするようにしたい。(安全面について「知識として知っている」ことが「行動」につながっていない)
- ・死亡事故は無かったものの、自転車の事故、二人乗り等マナーに関する面でまだまだ問題が見られる。
- ・交通安全教育で、学校周辺の危険地域や危険行為を、映像を交えて具体的に確認できたのはよかった。

「生徒会活動について」

- ・生徒会活動の形ができつつある。

- ・新会長を始め新生徒会役員として良いメンバーが選ばれた。今後の生徒会活動の飛躍が期待できる。
- ・文化祭は昨年より進歩していたと感じた。特に、開会式や閉会式の内容や運営、3年生のクラス全体での取組は高校生らしい活動でよかった。

「その他」

- ・職員の指導に対して一部の生徒を除いて従うようになってきている。

(2) 課題、3学期に向けて

「基本的な生活習慣に着いて」

- ・規範意識の充実
- ・身だしなみ指導の継続
- ・挨拶や言葉遣いなど、まだ不十分であるところを丁寧に指導していきたい。
- ・学校外における制服の着こなしや化粧への指導

「安全指導について」

- ・交通安全意識の浸透
- ・自転車走行のマナー
- ・免許取得の禁止の浸透
- ・ネット利用に関する注意の喚起の継続

「生徒会活動について」

- ・統合して3年目が終了するため、生徒会活動全体について省みる。特に会計面については昨年からいろいろな意見も出ているため、検討を進める。

<環境健康部>

※今年度の目標

- ・校舎内外の美化に努め、安心・安全な学習環境をつくる。
- ・美化委員会活動を活性化させ、全校生徒に美化意識の向上を図る。
- ・防災訓練をととして、防災や危機管理についての意識を高める。
- ・健康診断を確実に実施し、保健指導、健康保持の指導を充実する。
- ・組織的な取組により、教育相談機能の向上を図る。

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

- ・美化委員会の活性化
レッスルルームのワックスがけ
扇風機清掃及びカバーの取り付け
モップ交換等
- ・環境健康部倉庫の整備
- ・各学年、教育相談係が連携し、教育相談が機能していた。
- ・文化祭の机、イス異動を無事終了できた。

(2) 課題、3学期に向けて

- ・学研を控えて、校内清掃の徹底。
- ・保健関係で、必要な情報を発信していく。
- ・3年生のワックスは、2月中におこなってもらう。
- ・来年度の教室は一を決定していく。
- ・1学級増に伴う計画と環境整備
- ・第2多目的室の清掃。

＜図書情報部＞

※今年度の目標

- ・様々な場面での生徒への読書の指導と、教科に結びついた利用しやすい図書館を目指す。）
- ・視聴覚県警の施設、設備の拡充、及び情報機器の管理と整備を目指す
- ・成績処理、学検成績処理システムの構築と、生徒情報データベースの構築。

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

(図書関係)

- ・図書委員会が文化祭に参加。
- ・選書研修及び施設見学研修を実施。

(情報関係)

- ・生徒データベースを、現段階でほぼ完成できたが、いまの形でよいか検討する必要がある。
- ・成績処理システムでは大きな変更をおこなったが、問題なく機能している。
- ・成績証明書、卒業台帳、卒業証明書の出力システムはほぼ完成した。
- ・各行事で、視聴覚機材の準備がほぼ問題なく準備等ができた。

(2) 課題、3学期に向けて

(図書関係)

- ・図書館報の発行。

(情報関係)

- ・職員が使いやすく間違いにくいシステムを作っていくというスタンスで取り組んでいるが、そのことが、逆に簡単さゆえに確認作業を怠ってしまうということになりかねない。その点を寿運分理解した上で、今後考えていく必要がある。
- ・学検にむけての準備に、早急に取り組んでいく。
- ・視聴覚関係では、昨年度購入したプロジェクタが故障してしまった。原因は不明。
- ・巢夫ライトの修理を生徒会予算で執行できないか。

＜1 学年＞

※今年度の目標

- ・基本的生活習慣の確率。
- ・基礎学力の定着と学習意欲の向上。
- ・健全な精神とこころの育成。

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

- ・問題行動のある生徒に適切に対応できた。担任、保護者、生徒、関係部が連携をとった。
- ・学年職員が、生徒一人一人に対してきめ細かな指導をする体制の確立に努めた。学年室で、生徒の話をしても、職員は適切な対応がとれていた。
- ・事務室の協力も大きかった。面談、緊急時の保護者との連絡が、とどこおおwることはなかった。
- ・学年職員、特に担任・副担任の連携がよかった。生徒が入学前、中学校から情報を取り入れ、生徒指導に生かした。

(2) 課題、3学期に向けて

- ・学校としての学び直しの在り方。
- ・各教科でのテストの在り方、評価の仕方。

＜2 学年＞

※今年度の目標

- ・ 基本的生活習慣の確率。
- ・ 基礎学力の定着と学習意欲の向上。
- ・ 健全な精神とこころの育成。

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

- ・ 係を中心として念入りにプランが練られ、大きな問題もなく修学旅行を実施でき、終えることができた
- ・ 進路の分野別説明会では、積極的に行動する者が少しずつではあるが、増えている。本人なりに自分の目標に向かい始めている。

(2) 課題、3学期に向けて

- ・ 考査での安易な欠席をなくしたい。逃げずに、自分の力で進級してほしい。
- ・ 進路に向け自分の目標を定めてスタートした者がいる一方、まだスタートをしていない者に意識付けをしてスタートを切らせたい。生徒だけでなく教員も進路に向けての意識を高めなくてはならない。
- ・ 学年内の各係が責任を持って企画・運営をする。そのうえで、分業・協力の体制を築きたい。まだまだ計画的にことが運んでいない。
- ・ 特に進路達成に向けての計画的な指導体制の確立
- ・ 整容指導の継続

＜3 学年＞

※今年度の目標

- ・ 基本的生活習慣の確率。
- ・ 基礎学力の充実育成。
- ・ 進路設計意識の高揚。
- ・ HRの充実。
- ・ 特別活動の活性化。

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

- ・ 夏休みから、進路指導部とともに進路指導に取り組んできた。なんとか昨年度並みの成果をあげることができた。
- ・ 頭髪指導等、職員側の体制がよくなった。
- ・ “学年職員全体で、生徒の指導に関わる”ということを意識している職員が多くいる。
- ・ 行事等でクラスが団結し、よい結果を残すことができた。生徒達も充実した学校生活を送ることができた。
- ・ 時間があるときは、学年室に常駐するよう心がけることができた。

(2) 課題、3学期に向けて

- ・ 生徒全員卒業に向け、授業・生活一般を含め、かじめをつける。
- ・ 遅刻、欠席と化粧。
- ・ 授業に取り組む姿勢を改善させる。
- ・ 学年末に向けて、クラス全体で学習する雰囲気づくりを行う。
- ・ 廊下で指導する職員に偏りがある。
- ・ 卒業して、一人の人間として生きていく上で、大切なことを伝えたい。